

續々群書目類從
教育部

改正

翁問答

上



天保二年磨滅補刻

中江藤樹先生著

改正翁問答

東都書肆 嵩山房

1618
1-3

翁問答序

フリ 假字 是て 削り 但し 必要 のもの は假 字の 右方 へス

志学せし年より心よまじりし。身より行ふき道程を
もとめ得まじ。おもひまじ。禅門教門に釈教を年強
てまじ。其言。誠道より。其道偏僻なり。その
法より。倫日用に受用したる。儒門
よ入て。四書立論の真教をうけて。切礎琢磨をうけま
せ。三隅を及せざる。福乃。下愚たれば。開悟は自得
をうけざる。すて。道より。年をもち。うらる
ぬ。愚者たのやま。たのひなき。性た。か。る。を。
志。て。作。範。其。人。よ。あ。る。と。う。ひ。の。の。

先づ先学しうると。寤寐にこそあれど。隣里に天君とて
逸民とおぼしき。老翁ありけり。と。友れううう。
訪たはひて。杖を取て。まゝけぬ。我眼力。伯樂の
ね。も。駑駘れ。と。うら。ち。れ。も。威儀い。け。ぐ。め。
人あひ。和泉より。て。謙遜な。ま。だ。俗儒れ。意氣た。ま。
く。口氣た。う。れ。ま。ら。う。い。心。た。う。れ。ま。う。う。く。や。ま。
そ。ま。て。暇。れ。日。ハ。常。に。傍。に。付。れ。と。も。心。は。回。る。た。
く。く。か。け。ま。だ。只。山。賤。の。花。に。ひ。く。れ。も。異。な。う。は。門。下。
は。体。え。と。後。秀。た。う。人。ま。て。平日。疑問。論。難。や。む。時。か。
一。侍。ま。て。聞。と。う。も。お。心。れ。な。ま。だ。ぬ。ま。う。く。記憶に

わ。う。ど。心。し。粗。通。と。う。こ。と。あ。ま。だ。退。て。傍。語。て。書。つ。
け。遺。思。と。う。あ。ぬ。ぐ。て。年。を。あ。り。ね。ま。る。箇。条。
教。多。う。ち。り。心。ま。ま。り。の。ま。り。行。ふ。き。道。理。も。す。て。
開。悟。は。似。る。振。は。何。だ。も。う。も。我。が。こ。も。き。れ。愚。
者。あ。る。万。一。五。丈。の。た。ま。け。お。も。り。る。を。き。う。と。あ。る。な。
う。う。飛。回。答。と。是。号。して。巾。笥。に。め。く。お。き。け。
れ。言。え。い。や。う。理。ゆ。え。の。け。ま。ど。も。う。道。は。法。
わ。く。正。と。う。さ。か。ど。の。こ。と。ら。う。ね。も。只。愚。を。れ。書。つ。け。
う。う。う。に。て。翁。は。本。意。た。う。お。お。は。り。く。あ。る。う。
若。う。ひ。く。わ。う。持。み。て。志。な。う。こ。ま。り。も。あ。る。人。の。大。

幸へんをいふ

一 翁同答卷之一



一 体免回曰人ふれ心づてさほぐりて行ふそれある
それうらに是れ混れていつまはさぐをいふ
おほくも人間一生涯のうちいつまは道なり受用れ
さといふるをいふや
師翁曰あ人のふれうちに至徳要道といふ天下
の其實ありけりたうをいふ心よまもるも力も行
めとさるるなりけり實をもつて五倫の道を行へば
倫れる皆和睦してうらまけ實をいふ神の
心よまらば神明初受たまふはたうをもつて

これ其の道理を。老。宿儒。知見。拔群の
人。さ。と。り。ぬ。し。も。さ。け。る。と。さ。る。あ。り。也。信。者。ハ
親。子。流。う。つ。る。一。事。と。な。り。て。浅。近。の。道。理。か。り。と。
思。う。孔。子。だ。け。う。く。お。ほ。め。て。第。世。の。盲。龍。と
い。ふ。た。め。に。孝。德。神。妙。不。測。廣。大。深。遠。と。い。ふ。
昭。々。終。の。神。道。を。孝。弟。と。弁。明。し。な。う。孝。德。乃。感
通。な。て。ぢ。く。あ。げ。つ。て。お。ま。教。の。二。字。は。き。は。ぬ。け。う。
を。ハ。福。人。と。さ。う。さ。う。し。じ。う。さ。か。り。教。上。な。う。や。ま
い。下。を。う。か。め。あ。る。と。さ。る。後。方。り。孝。ハ。た。い。ふ。じ
の。後。の。と。も。む。ふ。ふ。の。形。と。さ。う。い。ふ。り。て。

後。の。う。ち。れ。び。ハ。あ。ら。う。と。さ。る。の。き。う。に。う。つ。民
か。の。神。ハ。あ。る。と。い。ふ。なり。の。と。く。孝。子。君。臣
の。人。倫。ハ。お。ま。い。ら。う。事。ハ。ふ。く。美。と。い。ふ。う。れ。た。を。
教。の。至。德。ハ。通。ぜ。さ。る。あ。り。と。い。ふ。大。概。を。端。し。る。
子。先。五。倫。を。い。ひ。つ。て。親。を。お。ま。教。と。さ。る。感。通。親
根。本。なる。あ。り。と。い。ふ。の。名。号。を。あ。つ。た。め。に。孝。行。
さ。げ。て。さ。う。い。ふ。感。通。の。光。景。ハ。さ。う。い。て。名。を
き。て。お。ま。を。さ。う。い。ふ。と。あり。二。心。な。く。孝。を。お。
教。す。と。忠。と。か。ら。く。體。儀。正。く。は。と。と。お。ま。教。す。と。
を。仁。と。名。け。く。さ。う。い。て。子。を。お。ま。教。す。と。を。慈。と。い。

身體とありて。天地萬物とのうらへ、萌芳や
 まるり。かくのごとき廣大無色なり。至徳なりき。孝
 事。万物の母也。孝の道理をなすべし。あれ。乾坤
 の天地の徳義物の長なり。故に人の心より。孝の
 令。神。啓る。あり。いふ。孝子なるは。身を以て道とお
 こふを以て功。丈夫のゆゑめと云。離身孝。孝者無
 る。故に。身を立道を行ぐ。孝の全神なり。親子よく
 是より。も。と。あり。ち。め。と。して。道。と。行。一。事。なり。め
 を。さ。つ。ると。云。ふ。孝。か。へ。え。孝。父母のめを。とり。て。う
 けたる。物を。た。ね。ば。孝。分。を。父母のめと。おもひ。さ

[illegible]

のたふしなごもろとぞりそ、國中は民のよるあが
心をゆては富きくながく社稷をまもりて。うれし
君よりつゝめら、諸侯の孝乃だ、いづなり

一 体え向曰、卿大夫乃孝行いづ

一 原翁曰、それ位の微か、もむ教の孝徳をおさう
みするが、卿大夫の孝なり心をこくして、力をあさ
免かりそめ乃行跡、あも人のよか、なりと云、樂二ツ
もあ、さうぬやうよく、くく、君のたま天下した
め、国のきめのとおもひ入、おれ、のい、さる、利害乃
く、り、ごを、は、教、行、も、心、よ、り、ご、を、れ、は、り、る、因、は、

一 天下固、安、徳の政を、あ、れ、く、時、大、お、も、て
軍兵を、さ、つ、つ、い、軍、法、く、心、ゆ、く、謀、め、ぐ、く、
百戦百勝の功を、さ、く、く、れ、位、を、た、も、ち、廟、を、守
り、ハ、卿、大、夫、の、孝、れ、だ、い、づ、なり

一 体え向曰、士の孝行いづ

一 原翁曰、かりうめ、あし、心、た、く、お、力、を、捨、く、志、浅、む、
教、す、る、心、を、う、あ、い、は、れ、く、の、微、か、を、く、ま、せ、り
は、い、め、長、を、う、や、ま、い、志、い、づ、い、債、守、に、た、め、く、
く、偽、だ、く、人、の、い、や、り、う、に、秘、人、を、あ、り、て、さ、ち、あ、り
ま、い、云、な、は、い、さ、い、や、り、う、い、心、た、カ、も、ち、義、理

おのゝ、肝要の禮法、藝能など、うつくしく、
軍陣のうつくしく、六君長の雅に、
もあふむく、
をたもち、
体え、
師翁曰、
ち、
心、
す、
と、

父母の、
る、
体え、
説、
師翁曰、
ち、
か、
は、
お、
く、

体え問曰ぬ等の孝乃説をりハ親を敬む
 たり孝行みていかくそれ徳を成ふか
 らもくのすばいいの事作を情入今世とむるが
 孝行のな意めていや
 師氣曰やうめて畢竟父の明德を承けり
 するが孝行のなてみていぬに心むこと忠
 一念をおこし或いはるまき事よく試みよ
 あづかりて事をいうことねがまらざる事を祿が
 いちむより一孝なりとくやとおそれり起事をお
 そろしみる不孝なり一云のゆゑと不孝なりとて

不義^{ふぎ}を爲^なすを力^{ちから}おこし。死^しをなすを安^{やす}めて死^しせむ。
死^しまう。さあめく。大^{おお}死^しをう。とらま。義^ぎものを
むさづり。とらなすものをとら。して仇^{きう}をに及^{およ}ぶ。
する。八^{はつ}皆^{みな}かの大^{だい}なら。不^ふ孝^{かう}なり。心^{こころ}よくけて。げく。も
よりの人^{ひと}も。あちり。げ。道理^{だうり}を。あさう。ウ。び。あちり
あちり。行^{ぎやう}を。儒^{にう}の。学^{がく}問^{もん}。と。あちり。世^よに。学^{がく}問^{もん}。する
人^{ひと}。あちり。人^{ひと}。より。と。び。あちり。を。さ。ちり。あちり。人^{ひと}。あちり
あちり。
体^{たい}え。曰^{いは}。倫^{りん}の。道^{だう}。の。名^なを。あちり。あちり。と。あちり。と。
あちり。全^{ぜん}孝^{かう}の。心^{こころ}。は。目^め用^{よう}の。急^{きう}勢^{せい}。あちり。と。あちり。あちり。
あちり。

母をわまふ。いね。まにわ。てふ。わ。か。あ。た。袢。
よ。う。さ。め。ふ。く。新。つ。り。わ。ま。だ。母。の。力。を。伸。を。ち。
さ。だ。が。何。る。さ。あ。が。れ。て。も。休。の。時。た。く。衣。裳。を。
乃。は。く。ろ。ひ。を。い。と。え。る。ご。ま。の。安。穩。と。あ。り。よ。
已。か。い。他。念。あ。り。ま。す。う。い。て。も。や。め。ま。し。賢。と。
も。と。め。神。よ。い。の。り。を。も。て。う。る。人。事。を。あ。り。よ。乳。
哺。三。ひ。の。る。父。母。の。苦。勞。を。け。ず。を。知。り。入。学。の。い。
ふ。ち。り。わ。ま。し。所。を。も。と。め。道。を。あ。げ。と。あ。り。よ。が。
酒。の。人。よ。ま。さ。へ。ま。事。と。な。い。と。て。に。ま。家。に。年。よ。
い。り。ま。ま。い。此。儼。を。も。と。失。お。業。を。た。て。て。富。さ。う。人。

事を。う。り。ね。い。う。の。子。を。人。は。ま。さ。り。仕。合。し。り。
さ。う。め。ま。な。め。さ。り。る。く。新。の。眉。を。し。き。も。ま。さ。
力。徳。も。人。め。た。り。仕。合。し。人。よ。お。り。わ。ま。し。よ。い。り。
終。に。ま。げ。と。な。り。父。母。の。の。ご。と。れ。を。あ。し。如。
此。の。苦。勞。を。つ。て。子。の。力。を。あ。げ。と。め。わ。ま。し。人。の。
子。の。一。身。毛。一。筋。よ。り。ま。さ。で。父。母。の。辛。勞。を。あ。げ。尊。
尊。に。く。ま。り。あ。り。父。母。の。恩。徳。は。天。より。も。ろ。く。海。よ。
り。も。ぬ。り。母。は。廣。大。な。心。乃。母。の。あ。る。あ。る。心。の。
く。さ。れ。ま。ハ。報。し。と。成。さ。る。と。て。母。あ。り。と。も。恩。
あ。り。と。も。お。し。は。さ。り。と。な。り。人。の。形。あ。る。程。の。

世なり。やまひはい。やう。悪^{あく}乃^のいり。とけ
て。盛^{さか}出^でて。辱^はとせ。父母と。あつが。あ。い。あひ
あひ。一玄の悪^{あく}口を。け。ても。盛^{さか}い。り。乃^のあり。い
さ。或^{ある}ハ。父母に。そ。じ。て。妻^{さい}妾^{せう}を。む。或^{ある}ハ。父母
を。捨^{すて}く。ふ。が。子。を。や。あ。も。あり。も。ま。親^{おや}の
慈^{いひ}悲^{あは}れ。く。不^ふ義^ぎ無^む道^{どう}の。あ。て。ぐ。い。何^{なん}も。ば。う。と。と。あ。く。
の。か。い。ま。の。お。り。い。を。あ。さ。り。富^{とみ}貴^き人^{にん}と。し。つ。た
ら。と。な。ま。し。人^{ひと}と。う。や。ま。大^{たい}切^{せつ}な。お。り。ふ。あ。あ。と。あ。
ふ。あ。あ。に。依^よて。た。う。妻^{さい}妾^{せう}を。寵^{ちやう}お。す。つ。ふ。あ。あ。の
秋^{あき}を。と。け。た。の。い。な。り。り。子。を。む。す。る。ふ。あ。あ。

を。け。つ。る。あ。り。り。け。け。け。富^{とみ}貴^き人^{にん}の。お。飾^{かざり}と
か。う。る。あ。あ。下^{した}地^ちと。う。ま。う。妻^{さい}妾^{せう}を。た。の。い。じ。る。さ
も。の。あ。い。又。子。に。け。あ。ふ。あ。き。あ。り。富^{とみ}貴^き人^{にん}も。
妻^{さい}妾^{せう}も。子。を。け。あ。り。て。い。や。あ。い。ふ。あ。の。な
ま。け。あ。を。ま。た。う。ハ。父母なり。父母け。あ。と。い。う。
あ。あ。富^{とみ}貴^き人^{にん}の。お。飾^{かざり}と。う。け。妻^{さい}妾^{せう}の。た。の。
み。を。も。あ。い。子。を。と。い。う。老^{らう}は。の。た。と。け。と。す。う。な
つ。あ。富^{とみ}貴^き人^{にん}を。さ。い。う。人^{ひと}の。あ。も。根^ねが。父母の。あ。
つ。妻^{さい}妾^{せう}の。た。の。い。を。な。ん。根^ねが。父母の。あ。り。
子。の。あ。あ。を。う。る。も。根^ねが。父母の。あ。り。何^{なん}も。と。け。

父母の孝なりと云ふは、父母の恩ハ廣大きことなり。て。其の大報奉たり。志する友に、父母を敬するを本として、おろろ怨と解の人倫を敬し、道をたこあふと孝と云。恥づと云大報中の孝と云く。父母を敬むを敬せんとて、枝葉のちよとこそ事をしむ。えと。他人を敬するを不孝と云。情誼と云。情誼のふたといひ、純人母とてまじりとも眞実の人は何れに必終る神心の罰に當るものなり。親の慈悲無く不孝と道にあてがいあらばよくて不孝なるをばまじらぬ夫ハおにもおもひゆつくと云。

たり。入す。心の中。乃。建ひたり。其。子。知。禮。義。等。
 ち。け。あ。う。わ。ば。一。目。も。知。ぬ。道。行。づ。ま。な。る。と。も。
 骨。肉。の。れ。も。ひ。と。ま。う。お。も。ま。う。世。を。ひ。と。む。ゆ。
 一。抗。父。親。の。怒。あ。う。何。て。ぶ。い。な。あ。う。に。孝。行。あ。る。
 ち。ち。こ。あ。ひ。や。も。と。と。境。界。あ。れ。所。て。孝。行。や。子。
 處。ふ。事。に。あ。ひ。親。の。怒。深。く。何。て。ぶ。い。き。道。な。る。ふ。
 孝。行。な。れ。と。せ。さ。と。と。に。あ。か。さ。と。孝。子。あ。れ。大。舜。
 の。行。ひ。後。ふ。孝。行。め。と。と。と。神。徳。よ。べ。一。昊天。罔。極。の。
 慈。あ。う。き。が。や。せ。毛。那。母。を。も。た。り。づ。ま。の。人。と。あ。う。ド。
 く。た。り。ひ。な。ひ。た。何。さ。ま。し。地。す。と。ひ。な。り。ひ。ま。よ。ひ。

母の感懐あるやうにふさしむ。又父母よりいふ
して、いづれをなさば別て父をうゑるにめ。孝とかこ
し。教をかこして親のいふよりいふをなすは、
のこしき事なむといふ。或は父の相口になすたの
みといふは、親あるをさうし、いづれに
まろく。孝の才一なり。父母をさう。天の賜なり。何
こそか。くさ別ての事なり。何れの時か。いふ。さ
やをいふ。禮法をさう。葬とあり。表はめく。長
をさう。宗廟祠堂とさう。鬼神は、いふ。時。俗。忌
目の系に。誠教をさう。台。眞の孝をおこさる。

子どもの若と云なりだやの子を養ふもさうなりは
 る養ふをさうと云ふの如くを成就さうと云ふに
 南方の若者をさうして子のねぐいのより
 そとそめを姑息のむと云姑息のむと云ハ紙
 牘のむと云牛の子をさうにたてたり姑息
 のむと云さうありてハ急むに似れどもさう
 氣配にたりてガもかく海もあく禽獣もかく
 ありぬまハ畢竟ハ子をさうして何さるべき
 へふも同じさゆ。我がハむの身をさげてけ
 えんハ父親の母なり。おやりけり。我が母

とけそ子の身とありてそのあるまじき子の力も
根^{えだ}がハねやの力なり。子をむさうとてその根
こるへむさうハ親の力と西道^{わだう}かといふに
とありてあるまじき子ありて人さうハ大不孝^{ふこう}の件
一^{さう}なり。根又あるまじき子孫^{そん}なり。家を破^{やぶ}る子孫
あるまじき孫に及ぶを人^{ひと}に^{ひと}てお孫の繁栄^{はんえい}とてと
むさうはた^かく^かてりては福^{ふく}なまむ^むと^と子孫の
せ^せ付^つは^はありて^{あり}て^てか^かい^いは^は愛^{あい}の^のほ^ほを^を帰^{かへ}し^して
一^{ひと}と^とも^もさ^さる^るを^をと^とて^てか^かい^いの^の孝^{こう}と^とぬ^ぬら
ふ^ふと^とさ^さる^る人^{ひと}の^の根^{えだ}が^がは^はね^ねと^とい^いふ^ふ人^{ひと}お^おそ^それ^れ位^い

合^あて^てめ^めて^て人^{ひと}の^の孝^{こう}あり^{あり}と^とて^ても^も福^{ふく}け^けて
か^かい^いの^の孝^{こう}徳^{とく}なり^{なり}と^とい^いふ^ふ。天^{てん}比^ひ晁^{しやう}林^{りん}の^のあ^あく^くと^とさ^さて^てた
ち^ちか^かふ^ふな^なれ^れば^ば一^{ひと}旦^{たん}榮^{えい}光^{こう}が^がこ^これ^れと^とも^もひ^ひあ^ある^る一^{ひと}代^{だい}
一^{ひと}代^{だい}の^のうち^{うち}に^に子^こ孫^{そん}孫^{そん}滅^{めつ}す^する^るもの^{もの}なり^{なり}だ^だとい^い終^{しゆう}滅^{めつ}せ
ざ^ざれ^れと^とも^もあ^ある^るに^にわ^わい^いな^なさ^さる^る人^{ひと}が^があ^ある^る先^{せん}祖^その^のせ^せれ^れ
い^いへ^へり^りと^とも^も相^{あい}孫^{そん}と^とされ^れは^は子^こあ^ある^るに^にも^も一^{ひと}世^{せい}ら
へ^へ眼^{がん}お^お一^{ひと}旦^{たん}の^の富^ふ貴^きか^かま^まさ^さる^るもの^{もの}と^とい^いは^は上^{じやう}の^の地^ちなり^{なり}と
わ^わい^いい^いへ^へり^りと^とも^も終^{しゆう}に^に孫^{そん}孫^{そん}の^の実^{じつ}實^{じつ}を^をい^いふ^ふも^もあ^ある^る
さ^さら^らな^なみ^み富^ふ貴^きの^の仕^し合^あひ^ひに^によ^よけ^けは^は其^{その}か^かハ^ハ何^{なん}も^もい^いふ^ふ
ぬ^ぬもの^{もの}なり^{なり}と^とい^いふ^ふ。か^か未^み是^ぜ也^やを^をい^いふ^ふと^とい^いふ^ふ。鶴^つ

かハあ。全孝の心はあ。天地を。新氏乃大
父母とあ。てんま。あも人。人の形。有
のもの。皆兄弟なり。あ。あ。聖人を。海
を。一家中。必を。人とお。め。なり。あ。と
の。隔を。と。あ。り。く。と。あ。と。り。め。ら
ん。あ。まの。ん。なり。稟賦。厚。薄。を。下。に。り。て。あ
と。あ。と。下。と。い。な。れ。元。来。骨。肉。同。胞。の。理。あ。れ
た。と。あ。が。う。ら。せ。ぬ。もの。なり。と。あ。く。と。あ。ま。と。あ
る。と。い。あ。る。は。ま。う。て。あ。が。う。ら。せ。ぬ。もの。と。い
う。も。た。な。い。う。う。禮義。正。と。い。て。あ。ま。と。う

う。あ。し。び。ぬ。う。さ。ら。ん。理。の。さ。ら。ん。なり。大。臣。も
家。の。も。し。せ。親。の。腹。心。あ。ま。は。う。後。大。祿。と。あ。え
大。方。の。事。う。ら。せ。て。な。う。う。也。禮義。正。と
う。あ。し。て。情。う。く。あ。る。べ。し。後。刑。賞。威。恵。は。皆
柄。と。い。う。を。め。お。し。り。あ。つ。け。ぬ。もの。なり。大。臣
と。下。の。徳。士。は。其。位。に。お。お。の。の。や。と。く
と。う。く。分。別。し。て。去。実。は。情。う。く。あ。ま。と。り。あ
し。め。れ。そ。れ。く。の。是。量。と。う。く。見。ぬ。と。う。う。つ
る。忠。義。あ。る。と。あ。其。大。小。將。重。い。と。う。い。と。磨
義。を。あ。え。後。を。あ。げ。ぬ。り。と。か。つ。て。群。臣。の

勤^{しん}とん士々必^{かならず}の餘^{あま}君^{きみ}の礼^{れい}牙^がなれ其^{その}んや
一^{ひと}あつたうさりこし。分^{ぶん}諦^{てい}なり。さて農^い工^{こう}商^{しょう}を
困^くのたうなれ。入^いあわれ。まゝくみ。其^{その}利^りを
利^りとして。其^{その}樂^{たのしみ}をたのじ。政^{せい}をなす。其^{その}美^みの
仁^に禮^{れい}を行^{おこな}ふ。太^{おほ}くなり。后^{こう}下^げの忠^{ちゅう}良^{りょう}をいふ。君^{きみ}より
ふまうを根^ね本^{ぽん}とし。忠^{ちゅう}を二^{ふた}心^{しん}なく。一^{ひと}筋^{しん}に。君^{きみ}乃^{すなは}
ため。のこ。おもひ。入^いそれ。く。の誠^{まこと}分^{ぶん}と。く。いふ。め。て
家^けが方^{かた}を捨^すて。け。云^いふ。さう。使^{つか}なり。それ。く。の任^{にん}
ま。より。く。大^{おほ}小^この。免^{めん}別^{べつ}を。あ。れ。い。と。忠^{ちゅう}の。心^{しん}は。さ。お
か。い。も。り。あり。君^{きみ}の。君^{きみ}の。親^{おや}の。母^{はは}に。む。と。く。お。り。も。

親^{おや}を。も。は。親^{おや}に。つ。う。と。く。心^{しん}を。そ。て。け。り
ぬ。の。つ。なり。親^{おや}は。け。形^{かたち}を。う。と。く。さ。た。う。君^{きみ}なり
君^{きみ}は。け。方^{かた}を。出^でて。終^はる。君^{きみ}なり。け。や。な。け。さ。は。け。方^{かた}
か。一^{ひと}。君^{きみ}を。あ。れ。は。け。方^{かた}の。忠^{ちゅう}良^{りょう}あり。皆^{みな}命^{いのち}と。た。を
け。君^{きみ}なり。あ。に。親^{おや}も。君^{きみ}も。と。命^{いのち}を。捨^すて。け。云^い
さ。う。乃^{すなは}理^りあり。大^{おほ}長^{ちやう}の。忠^{ちゅう}良^{りょう}を。其^{その}事^{こと}大^{おほ}なり。あ。に
大^{おほ}長^{ちやう}と。云^いふ。小^こ長^{ちやう}の。忠^{ちゅう}良^{りょう}は。さ。事^{こと}小^こなり。あ。に。小^こ長^{ちやう}と。
云^いふ。君^{きみ}の。婦^ふ人^{にん}も。事^{こと}あり。も。君^{きみ}の。為^{ため}必^{かならず}の。た。終^はる。家^け
中^{ちゅう}の。事^{こと}め。に。ど。く。さ。事^{こと}な。れ。い。ま。君^{きみ}の。母^{はは}行^いひ。終^はる
や。い。ふ。よ。う。い。さ。め。を。あ。一^{ひと}。ま。君^{きみ}の。ど。き。こ。の。む。事^{こと}

云。役を悔急せし。心より玉君とおられ。うやまわ
る。庶人の老言方なり。君ハ仁禮の海に從て。臣
トとつうい。臣トハ忠敬の心を守りて。君につく
まつりて。君に交泰する理。天命の本然と
のつうる義方あるに。又教訓二に。君臣の義
と。臣たる人。至まハ和義を以て。業を倡道と
し。和志と。和合と。和合する徳なり。義ハ理に從
さる。人。徳をえ。ひさる。徳なり。大抵
婦のち。至。欲の私に溺て。義理のさ。い。ん。あ
く。業にま。う。れ。く。親子兄弟。骨肉の親を。も。

ツ。い。る。そ。う。き。く。う。と。と。む。ま。其。れ。ハ
家を彼。を。う。ー。あ。ま。の。古。来。ま。教。と。き。に
又。に。夫婦のま。ど。り。そ。む。く。あ。く。肌
は。足。る。ま。も。る。是。皆。人。心。の。ま。ひ。なり。夫婦
の。ち。ち。人。心。の。む。む。い。合。る。ど。く。あ。れ。と
根。ハ。形。と。う。ろ。袖。り。氣。合。の。孫。天。の。定。と
こ。ろ。あ。り。て。親。の。ひ。ま。と。う。あ。れ。と。上。妻。ハ。祭
祀。の。た。ま。け。子。孫。お。孫。の。中。始。な。れ。と。い。と
和。合。ま。さ。き。事。勿。論。なり。と。う。れ。と。義。理。の。さ
い。ん。あ。け。ま。む。の。私。よ。お。か。れ。家。及。ま。

主別乃の常を失ふなよ。和と義との二つを
あつせて、夫の妻と偶るは、妻ハ唯正の二徳と
いふ。又、つみ子と人、唯正とて、いふ。あむ
ふ。このいひ、氣かり。正ハ義理作法を正しく守ら
に、正しくいふ徳なり。正ハ義理作法を正しく守ら
徳なり。妻ハ夫を天としたの、夫の家と。妻乃
家とあり。夫婦一軀の理なり。故に、我々生
の父母と。父母とせしめて、夫の父母を父母と
する。耶人の定むる。て、不易の天則なり
と。う。故に、先舅姑ふ。な。い。なり。成。唯正の正

と。い。と。女。の。三。徳。を。守。女。事。を。よく。し。と。め
作。は。あ。い。く。夫。の。下。知。に。あ。さ。う。い。家。と。義。子
孫。を。ま。づ。て。系。族。を。和。睦。一。家。人。に。睦。と。り
こ。い。と。婦。徳。の。大。概。り。夫。ハ。陽。徳。と。あ。さ。う。い。外
と。治。と。和。氣。の。徳。を。あ。さ。う。い。て。妻。を。偶
妻。ハ。陰。徳。と。あ。さ。う。い。四。を。治。と。唯。正。の。徳
と。い。さ。う。い。て。夫。に。あ。さ。う。い。男。女。陰。陽。内。外
の。各。別。り。の。い。く。と。あ。さ。う。い。て。家。と。義。子。孫。と。め
子。孫。長。壽。皆。お。親。睦。と。和。氣。合。同。と。い。う
ぬ。よ。夫婦。の。各。別。と。な。と。い。げ。り。唯。正。天。命。の

中然^ぢとあつりあつたに。不^ふ義^ぎの筈^{はげ}三^{さん}り。ま
婦^ふを別^{べつ}と。流^{りゅう}後^ごへ。才^{さい}ハ情^{じやう}を以^{もつ}て。兄^{けい}リ流
不^ふ然^ぢと。情^{じやう}ハうやまひ。さうぶ。情^{じやう}ちり。他人^た
の。老^{らう}位^いに。つゝ。も。同^{どう}じ。と。なり。他人^た
め。も。老^{らう}を。うやまふ。ハ。理^りの。然^{ぜん}ちり。
ま。て。おやの。力^{ちから}を。まけて。おに。は。ふ。だ。ち。て。せ
ま。つ。兄^{けい}を。うやまひ。さうぶ。事^{こと}。分^{ぶん}端^{たん}の。と
り。なり。兄^{けい}ハ。惠^いを。以^{もつ}て。才^{さい}を。ま。さ。ゆ。ら。た。と
は。惠^いハ。な。ま。の。二^に義^ぎを。包^ふたり。お。ハ。おやの。子^こと
も。ま。つ。り。に。人^{ひと}あら。に。さ。う。い。ひ。と。ま。な。は。

な。だ。ち。の。た。ぐ。い。に。切^き疎^そ疎^そ磨^ます。ら。う。と。く。な。ま。お
あ。や。と。さ。う。と。ま。う。と。ま。を。さ。う。と。く。に。す。う。や。う。
若^わと。さ。う。と。ま。を。さ。他人^たの。と。ま。う。と。く。に。す。う。や。う。
り。ま。う。と。く。も。同^{どう}じ。な。り。他人^ため。も。さ。う。と。く。
惠^いを。さ。う。と。く。に。す。う。と。く。に。す。う。と。く。に。す。う。
然^{ぜん}ち。り。ま。て。才^{さい}ハ。おやの。力^{ちから}を。ま。さ。ゆ。ら。た。と
連^{れん}氣^きの。人^{ひと}あら。に。な。ま。の。惠^いを。さ。う。と。く。に。す。う。
と。分^{ぶん}端^{たん}乃^{なり}。才^{さい}ハ。理^りの。さ。う。と。く。に。す。う。と。く。に。す。う。
か。う。と。く。に。す。う。と。く。に。す。う。と。く。に。す。う。と。く。に。す。う。
ま。ハ。な。ま。の。兄^{けい}才^{さい}乃^{なり}。他人^ため。も。お。う。と。く。に。す。う。

のりとなり。君臣乃父子極を建乃大儀人倫の
 要なり。夫婦乃別べつは生なまれ人倫の始はじなり。夫婦の
 ありは三つ乃その一、人倫のうちあり。三綱要なり。
 あり。三綱と名付なづけり。あるあり。三綱を先まきと
 ぬた。儒にうは後のちに三綱の内にあり。父母のたれ天
 性なり。君臣の義なり。父子の倫の道
 孝かうのの。衆目しゆめて孝かうは人倫の第一義あり。人
 よりて一番に父子を親おやとて。後のちに君臣の義
 ひききなり。親おやふつうは孝かうとて。君は
 つうする。君臣はなれ。孝かうは人倫の第一義なり。

なるなり。第二番は君臣の義とて。人
 倫の夫婦は人倫の始はじなり。生理の寓あやするあり。
 一よりて。才二番は夫婦の別べつとて。後のちに兄
 弟は天倫の義なり。骨肉同胞の愛あいなり。友
 弟は四番に長幼の序しよとて。人倫の朋友は異
 親同氣しんどうき乃兄弟あり。天倫同胞乃親しんより。人倫
 あり。一よりて。才二番に朋友は信しんとて。人倫の
 叔父父子の親を源みなもととて。典てんみる孝かうなり。事
 を。孝かうは人倫の第一義なり。父子の親を始はじとて。人倫の
 孝かう法をわきまする。人倫の第一義なり。

肝要とする事とあるは、朋友の信と
終はるゝ。弟子の以友誼仁とされ、い
なり。畢竟、此の教なるを、
時、
たり。此の要道、
なり。

体元、
初の
の
はわび、
別は、
はわび、

わい、
肺、
う、
る、
倫、
異、
め、
や、
に、
死、

死を其の別なり。三才一貫の乃とてその教
 とあり。学となすを倫の道。向上の道
 向上の乃が。外又倫の乃とて。素其
 位而行。不願其外。下学而上達する。一貫の乃
 不二の妙理なり。大典のわは。別は向上の一路をも
 せし。食と六飯と湯とす。別は飢渴をや
 む。飲食とせしむるに。となす。志定神妙の
 道を。あるる。極く。極く。に。す。ひ。たる。我
 沙汰とす。乃。儒門は。今。ま。ひ。を。し。給。ふ
 三事。人。乃。一の。名。勢。め。く。い

菊田巻之二

一 体充同。世の学問。人々。なる。に。て。学
 問の。ある。と。な。す。益あり。却て。お。こ。え。わ。く
 是。風。なる。人。乃。と。て。なり。正。論。学。問。を。せ。ぬ
 が。ま。し。う。と。な。す。い。う。
 一 昨。菊田。人。乃。と。て。なり。お。多。く。と。も。大
 体。の。大。い。な。る。乃。に。な。り。れ。る。聖。人。一。等。の。嘆
 人。一。等。智。者。一。等。愚。者。一。等。不。肖。者。一。等。凡。人。等
 なる。い。ふ。乃。の。内。聖。人。は。生。知。安。行。と。て。学。問。せ。ば
 して。性。と。ある。乃。を。行。ひ。給。ふ。人。や。聖。人。より。下。ハ

原翁曰。昔の如く。や。お。お。う。と。防。之。能。の。と。う。と。お。
れ。ま。の。う。と。て。い。い。書。六。經。の。か。は。子。百。家。の。書。
と。の。こ。さ。び。う。と。え。又。と。考。考。と。う。う。は。耳。の。か。う。
利。禄。の。も。と。め。と。の。こ。う。と。ん。の。強。慢。と。う。と。う。と。信。
儒。の。記。誦。詞。章。の。ま。い。と。云。や。

仲文曰。夫のまゐるやうなりまゐるや
原翁曰。是の法とて。う。ま。と。う。と。志。の。根。本。は。ま。う。と。う。
書。六。經。の。心。と。原。と。て。意。事。操。持。の。後。果。を。確。
と。と。い。い。法。の。あ。ま。と。う。と。う。と。考。考。と。う。と。信。
乃。と。考。考。と。う。と。行。ひ。た。れ。と。保。合。と。て。利。貞。の。能。

小治のあつて。う。う。う。う。時。分。法。と。い。う。天下。と。信。
伊。丹。大。公。の。事。業。と。あ。う。け。に。あ。つ。て。考。考。と。う。と。
ま。う。と。考。考。と。う。と。一。性。と。考。考。一。令。に。お。て。孔。子。
の。教。化。と。あ。つ。て。ま。う。と。の。ま。い。と。云。や。

仲文曰。信儒のよじ書し。信書六經。夫儒のよじ書し。
信書六經。め。て。う。う。ま。い。と。の。と。う。と。う。と。う。と。う。
お。て。い。い。よ。じ。書。め。う。と。あ。う。と。の。ま。う。と。信。儒。の。ま。い。
ま。う。と。ま。い。と。う。と。あ。う。と。考。考。と。う。と。信。儒。の。ま。い。
も。益。が。く。考。考。と。あ。う。と。考。考。と。お。い。と。う。と。
原翁曰。非理の精微と。う。と。う。と。と。う。と。迹。の。先。制。

富貴を長生ののれにまゝあつ麻とては祿よりか
 か。その問よては徳田業のふよとては人といふ室
 めもふとては富貴を長すと祿のひのまゝに地とん
 るひがふとてはまゝとねい。孔子は位とて祿は徳
 ち第第飄飄蒼不事短命なりとて及ふ。古来
 而も賢人ものねがひと思ふに地祿のひるふめい
 る。後いふ徳とねがふといふ
 原翁曰是も人の迹の免お入は迹とては徳は
 てはふ富貴をてはふにて見ふは富貴はあつとい
 聖人のふ富貴を祿に。徳は徳といふはま

このまゝ死といふまゝ福といふまゝに福といふに
 只もとては徳と行徳計とて凡夫の祿はひは
 あふふにものつねい。のまゝとて凡夫の祿は
 と。ちもふといふもめい。つより。ふん。の樂は
 ち。ふ。い。も。上。凡。夫。の。祿。ふ。富。貴。は。富。貴。と。て。ち。
 ち。ふ。子。富。貴。なり。ふ。富。貴。の。外。に。富。貴。と。て。ち。
 廣大に富貴なり。大富貴は凡夫の月に入ふ。あ
 ち。も。め。祿。ふ。い。ち。ち。賢。人。は。大。富。貴。と。ち。い。ひ。
 ち。に。地。祿。の。より。て。ふ。富。貴。と。て。は。祿。ひ。て。ち。
 ち。祿。ひ。ひ。ひ。あ。に。疏。食。飯。水。第。第。飄。飄。蒼。の。貴。

二七
物に形をひても。世上の美樂なるは泰然とある
凡丈の小富貴をたつる末とある。一日もつて
をさるるあつた。これ思ひのまうたら。富貴にあら
や。世人の所望は誠長在不滅なりて歟死一
ても不亡。天地終る壽不賁ものあれば。彭祖久百
歳も。尸子も。矢死よとある。是かむひのまうら
る。長生にあつた。凡丈の迹なりと見て。迹にあら
て。漏るるにとりて。蚊の塵とめらるる。こゝに坐し
る。こゝにけなり。水海のまう。漏るる。何の事
もあるものなり。

仲立曰。美儒のまう。いよ。あつる。水海とほむ。
あつる。たふ。

一
原翁曰。儒乃と行人。天子。諸侯。卿。大夫。士。庶人。なり。
け。又。等の人。が。玉。は。要。る。と。保。合。と。る。と。美。儒。と。云。や
ある。故。に。天子。諸侯。卿。大夫。士。庶人の。水。作。る。美。儒の
まう。いよ。いよ。て。美。等の。水。作の。お。乃。と。さ。さ。い。る。天
命の。水。理。に。あ。つ。玉。は。要。る。と。保。合。と。る。と。美。儒。と。云。
等の。四。つ。て。美。等。と。云。る。運。命の。終。い
まう。て。水。海の。水。と。め。と。け。ま。い。か。他。念。あ。一。え。
まう。と。い。ひ。八。形。の。美。なり。八。形。あ。れ。ば。う。あ。つ。に。は。

此のより理より形より々々下め氣化乃運
 命に學爲る下あるに由て人君のまことひ
 ふる富貴の差あるて人力の及ぶにあら
 ざる富貴の差あるに由て人君のまことひ
 の意味はとちこのなり。然るに君子は富貴をね
 ぶる。貧賤ともいとひ。唯天理の志をたの
 びしか他よりなく。は
 体え曰。俗儒の文ををたてど。さうひにさるる
 むが。しくめくは。なり。

原氣曰養を事業としむるは可成教官の属す

ふはびごとめくなくい。只ただ教やうが。なるゝとい
 教やうどおよくふあうが。さうさしんぶ傷みとい。教や
 わ。さたよりそのぞ俗儒しゆじゆのそしりあるなれハ産業
 おもひやくとも教やうにむづこありせ。ふゆ
 終るべー

体元向 文武を車れぬ輪をのぬ翼の
 とやなやい文と武とハ二色をそゝやそそい
 るうなるものを文武とふやい

昨翁曰。又と武に世俗大なる山臥をこまひて入い
世俗ハ哥うたと談よめ術しゆと作つく。文章ぶんしょうに達たつし氣きをそもの

やうなやうなやうなを文と云はるる兵法と習ふ
 氣をこころけいふ所なるを武と云はるる世にみ
 ゆるもの。似ぬゆゑにえ來文我ハ一體として
 各別なるものあり。才の天地の造化一氣より
 陰陽の差別あるごとく人性の感通一體より
 て文武の差ある處に武あるより文は実の文に
 あり。文なき武は虚実の武はあり。陰ハ陽の
 根となり。陽ハ陰の根とあるごとく。文ハ武の根
 となり。武ハ文の根とあるなり。天と地と地と
 際として天下を家とよく治るる必属民さるる偏

のたを^たとてくする代。文と云。天命をかそれざる。惡
逆^{さか}を^ふたの志ありて。又たをさまゝとするに或^{ある}六刑
の罰^{せう}としてあらしむ。武は軍^{いくさ}をかこし。征伐^{せいばつ}して天下
統^{どう}の治をあらんと。武と云ある處に戈^やと止^{やど}と云三字
と何かせそ。武の字をつらうつら。又たを行あらんや
の志^{こころ}なあれ。武たの根^ね。文なり。武たの威^いを利て
治むるよりなあれ。文たの根^ね。武なり。を邦に文武
の二才^{ふたさい}をあれさるものなり。孝悌^{こうてい}忠信^{ちゅうしん}のたをさく
かこるより文なり。孝悌^{こうてい}忠信^{ちゅうしん}のさるものと別なもの
退^{ひき}治^ぢして法とぬかをあべ。武ありたと。春夏の陽

斗めく。秋冬の陰なく。秋冬の陰斗りて春夏
の陽あるれ。万物を生成する造化の功。成徳する
とあり。陰陽二氣の若ふあり。ともなふ。同
一元氣の流行なること。なれ。同。一。陽。陰。あるれ。武を
うめく。又。文。を。さ。い。秋冬の陰のさ。い。て。春夏の
陽のさ。い。を。さ。い。文。斗りて。武。を。さ。い。春夏の陽斗
りて。秋冬の陰のさ。い。を。さ。い。文。に。仁。の。美。を。武。に
義。の。美。を。な。り。仁。と。義。は。同。く。人。性。の。一。徳。あるに
よ。り。文。武。も。同。く。一。徳。あり。て。各。別。ある。もの。は。何
ら。仁。義。の。徳。と。よ。く。さ。い。と。り。て。文。武。の。さ。い。を。め。む。

一。仁。と。義。と。さ。い。たる。文。は。名。は。又。ある。れ。も。実。は。文。は
あ。り。義。に。さ。い。さ。い。たる。武。は。名。は。武。ある。れ。も。実。は
武。は。あ。り。び。又。武。の。心。味。と。よ。く。か。さ。い。け。され。ん。の。や
と。い。と。く。さ。い。万。の。の。さ。い。を。あ。り。と。い。と。さ。い。さ。い。文
武。は。法。と。藝。の。な。れ。実。は。文。の。法。と。い。と。文
藝。の。根。本。なる。又。学。禮。樂。射。数。と。藝。と。て。文
法。の。枝。末。なる。義。は。武。の。法。と。て。武。藝。の。根。本。なる
軍。法。射。御。兵。法。と。て。藝。と。て。武。法。の。枝。末。なる
根。本。の。法。と。す。一。か。て。つ。と。あ。る。ひ。枝。葉。の。藝。と。す
一。か。て。あ。る。ひ。本。末。の。さ。い。と。り。て。又。武。合。一。なる。と。い。

一 せりしめ^まあうむうとありと云ひはる^{せん}振本の
 仁義とまうのうへふ。文藝武藝に^ちどめるは
 末^ま道^{みち}使^{つか}する^{もの}能^{のう}の君子^{くんし}とせし世俗^{せよく}の^{こと}道^{みち}に^つける
 花^{はな}も^も実^みも^も人^{ひと}なり。なきてのうへふ文藝武藝
 結^{むす}成^{なり}なる^{もの}を^も養^{やしな}ふ^{こと}は^な末^ま先^{せん}後^ごの^{こと}也^{なり}管^{かん}要^{よう}
 あり

一 体^{たい}元^{げん}田^{でん}本^{ほん}末^まの^{こと}それ^{ごと}ける^{もの}あ^らざる^{もの}なり
 仕^しらんや

一 昨^{きのう}花^{はな}田^{でん}本^{ほん}末^まと^もな^らばと^もま^じび^るう^へふ^{こと}は^な文^{ぶん}藝^ぎと
 ありと^も又^{また}な^らば^も行^なひ^は武^ぶ藝^ぎと^もあり

武^ぶ切^{けつ}と^もま^じる^{こと}は^な末^ま先^{せん}後^ごの^{こと}也^{なり}
 ありと^も又^{また}な^らば^も行^なひ^は武^ぶ藝^ぎと^もあり

一 体^{たい}元^{げん}田^{でん}本^{ほん}末^まの^{こと}それ^{ごと}ける^{もの}あ^らざる^{もの}なり
 の^{こと}也^{なり}に^つける^{こと}は^な末^ま先^{せん}後^ごの^{こと}也^{なり}

昨^{きのう}花^{はな}田^{でん}本^{ほん}末^まと^もな^らばと^もま^じび^るう^へふ^{こと}は^な文^{ぶん}藝^ぎと
 ありと^も又^{また}な^らば^も行^なひ^は武^ぶ藝^ぎと^もあり

一 体^{たい}元^{げん}田^{でん}本^{ほん}末^まの^{こと}それ^{ごと}ける^{もの}あ^らざる^{もの}なり
 ありと^も又^{また}な^らば^も行^なひ^は武^ぶ藝^ぎと^もあり

一 体^{たい}元^{げん}田^{でん}本^{ほん}末^まの^{こと}それ^{ごと}ける^{もの}あ^らざる^{もの}なり
 ありと^も又^{また}な^らば^も行^なひ^は武^ぶ藝^ぎと^もあり

武がずるつちば大勇なり。血氣けつぎの勇ゆうはたゞ死しに
 義不義の二さすへなく只ただいじさいに極たぎして
 人よらものよおそれざるなり。されば虎狼ころうのけ
 ちげよひくちて人ひとのさむとをきりあ
 ながれりて死しとおそれざるこそ仁義の勇に
 似にこれたる。死しを不義の二さすへなく。只血氣けつぎより
 ずるせていじさまれ。虎狼ころうのありまといとあ
 ましく位くらあり。ものゝ乱らんとおう。賢けんものハ益えき
 とをいさして。敵てきのうさぬに。敵てきのたえに
 おろろん。胆たん病びやうなり。老ろうの死しとおろろに。とも

血氣けつぎの勇ゆう者ハ畢ひ竟けい敵てきと本ほんとさるゝ。なれどち
 軍ぐんもハ武勇ぶゆうとけとたえのあり。一ひと人じんんを
 進しんも。敗軍はいぐんの時ときハ。さるゝ。君きみと捨て。後ごまう。さ
 畢ひ竟けいの武ぶ篇ぺん者しやた。まゝ。かゝの。さ
 進しんだ。血氣けつぎぐらりの勇ゆう。りて。義ぎ胆たんの勇ゆう。た
 ぬ。ぬに。血氣けつぎの勇ゆうと。血氣けつぎのたけ。さ。計けい。て。敵てきの
 おろれ。ぐら。進しん。ハ。三さん。一いつ。共いっ。の大だい。た。と。お。こ。あ。用よう。の。
 た。ず。て。小せう。体てい。血氣けつぎの。や。く。ぐら。り。よ。さ。る。な。ま。う。
 小せう。勇ゆう。と。も。名な。付つ。り。

一 体ていえ。曰い。大だい。勇ゆう。小せう。勇ゆう。に。用よう。や。う。は。な。や。

一 原氣見大勇ハ用てわきおちくまへ用てわき
はかへり位府外又偏のまへりり大勇なりてな
るを行みわきり軍陣まで大將よりてもい
むやよーてもいふ勇れん武勇たる
の役よりまでいふやよーくとも大將
よりいふ昔より倭漢ともに大勇の大將勝
利よりいふあけてかきくはけりむ
へいふよりいふ
侍え回曰軍は陣端にいりよりいふよりいふ
秘ふいふよりいふよりいふよりいふ

一 原氣見大勇ハ用てわきおちくまへ用てわき
はかへり位府外又偏のまへりり大勇なりてな
るを行みわきり軍陣まで大將よりてもい
むやよーてもいふ勇れん武勇たる
の役よりまでいふやよーくとも大將
よりいふ昔より倭漢ともに大勇の大將勝
利よりいふあけてかきくはけりむ
へいふよりいふ
侍え回曰軍は陣端にいりよりいふよりいふ
秘ふいふよりいふよりいふよりいふ

あひやん

一 昨氣口功とやとの名昔といふまでども、味えいの
仕扱しあてわきまある。人のてゐる上うへにはちりたるあるむ
けれ授おづみ。かゝるよりハも、形くは

体之曰。ひくの控ハく。所ナクヤ

昨般曰。君より人の心がうつるは。後をいひ。おそ
く。りそ。後の心味も。あやまる。なり。まふ。あう
あに。人君の心。うきうきにして。おそ。その。お。と
定め。と。功。や。は。の。正。員。上。中。下。の。お。さ。め。後
の。わけ。な。う。い。も。ひ。の。は。や。し。を。け。れ。は。後

侍のてゑるものなり。あつるかん。高実の師と
 と切ふ。ちうとちうげまう。ふまのたきとそくもの
 かり。是昔のちまうくの眼なり。何やど。うさ
 ありても。主君のんくければ。さう控が司にな
 め。よめて。さうき。さう人。さうお。さうさ。さう
 仙。え。同。目。下。と。さ。う。さ。う。い。つ。く。い。さ。う。く。い。さ。

作義曰。主君のふりちと山立海より何なりも
 勅せむとふ山のてい。人となひまてさるるは
 大海の清濁とえくむざらじくとたふち。人を

して。うきものもあれば。さび—きくよきとも。ゆ
りきうふきいも。さびるうに。只河と成と。信と
お通—くるる理に。あさひくろくうく。いふを
まはなみも。が未あり。君のふゆう。あてな。行
必中のふ中。後とさる。政の振ふ。あり。法。衣の
箇条。政の枝葉。あり。君のこむむ。と。ば。ま。下
皆まの。と。さる。ものあれば。君のふゆう。に。な。行ひ
ぬれば。法。衣。あり。ても。あ。う。く。人のふ。う。なり
りのなり。う。て。法。衣。と。う。く。定め。お。り。く。もの。と。バ
刑。罰。と。く。あ。う。く。が。も。未。も。う。く。行ひ。ぬ。れ。ば。ま

富さう。長久。よ。あ。う。か。う。が。と。持。く。未。だ。う。り。あ。て
治。と。法。治。と。さ。く。あ。う。く。政。教。と。さ。び。—さ
ものなり。秦の始皇のけ。重。法。治。の。ま。振。—る
ものあり。法。治。と。さ。く。き。か。く。み。さ。う。く。もの。あ。う。始
の。法。治。と。後。と。さ。く。あ。う。く。が。未。政。と。す。あ。く
お。お。通。の。ま。告。に。う。あ。ひ。お。ほ。う。なり。と。が。と。今
時のやうに。う。く。ま。い。さ。る。人。ふ。と。お。い。じ。う。と。に。う
あ。と。ま。ま。ひ。に。た。と。う。り。何。と。い。う。う。か。ど。に。あ。う。か
ま。い。の。なり。う。ろ。う。ば。よ。あ。う。始。と。さ。け。ば。み。う。あ
川。と。う。く。う。く。さ。び。の。なり。い。れ。て。な。い。へ。—。法

豆と入る。何れぞさるよ入る。修理とくも
 うたぬものぞ。是の時とく。耕作の仕極とくけ
 まとも。水のちぎひくるに。うて用いたぬまで。は
 くれ。ま同し。仕垂し。水吐の地理とく。管要を
 みる。作極とく。耕作の時。主田に猶とく。畠
 子。菽とく。天時地利。皆よく。うまい。と。他人の
 田。ぬい。うつけぬれ。お用にまぬ。人に。帯て。益のと
 ぶ。ある。これ。時とく。も。うけれ。と。お位いの。か
 限。より。事と。ま。あなり。これ。ま。ま。改も
 人位のかと。あ。大事なり。と。作極とく。耕作の

時。お。田に。猶とく。人。お。畠に。菽とく。人。お。時とく。位も
 よく。うまい。ても。ぬれ。る。苗とく。う。う。け。る。菽。種と
 う。て。へ。え。え。た。ぬ。りの。なり。是。天時地利。人位。皆よ
 く。あ。ひ。ても。苗とく。種に。ま。た。る。さ。あ。ち。う。是。ま。て
 ま。あ。も。改も。苗とく。る。り。種とく。なる。ぬ。種。の。ま。た。あ。さ。う
 う。あ。う。た。れ。は。時とく。お。と。位。や。に。う。まい。て。野。人。の。法。と。用
 ても。ま。ち。さ。う。と。作極とく。一。時とく。お。も。位。も。う。く
 あ。ひ。苗も。種も。う。く。ても。こ。え。と。一。草とく。る。修理の
 仕。極。あ。う。た。れ。は。秋。の。とり。ま。さ。も。の。なり。時。お。位
 苗。た。れ。も。う。て。も。事。の。つ。と。め。た。う。さ。ら。あ。ち。う。是

仲元曰。學問と政とハ各別なるものにてねらふ
ひふのちのありては存亡や

一 昨翁曰。然して世に學問といふ事あるものハ
むともしなくは。西漢の學問のうらやまあり
又くに建ひるのひあるるにては學問ハ政と
別なりと云ふ。金休根中と云ふは。天地五形の
かへ通し。上も下も外も中も。神の不可測なるもの
を。天下の事あるは。政ハ政と。神通妙用。一の中
あり。是なるに。政ハ政と。神と通するは。中と云ふ
事。天下の事あるは。政ハ政なり。え。一と云ふ事。

一 一なるものといふは。一なる事。一なる人。一なる
なり。政あり。ハ形く。天子徳侯のあり。行ひ
終る一なり。はもの。一なる事。一なる人。一なる
事。政と學問と。本同一理なる事。と云ふに。政
なり。

仲元曰。政と學問と。一なる事。一なる人。一なる
各別なるもの。一なる事。一なる人。一なる
一。昨翁曰。然して。名のあり。一なるもの。一なる
大なる。政と學問と。名付るに。一なる事。一なる
事。一なる。政と學問と。大なる。一なる事。一なる

續つづと云ぐどく。徳性とくせいのゆゑなり。而しかにあまうつぬく。徳性とくせい
と号なづす。徳性とくせいの亦また形かたちくよもなく。廣大無意くわいたいふを
吾われ所ところよつぬく。或あるはと号なづけりなり。或あるの字じより極きよく

体え目よりめい云ものどけのや
 あてぢかぬものありや

昨氣日よく晴る代よりさのちよりきりものなり
 風^{カザリ}俗あしく人のみづれより代よりあつぐより
 まる細^{さい}ハドとめあれづべに法^{ほう}衣^い減^へかそれいまり
 ひるよりして活^{ちき}るのたまけとあまぬべしきりとも

よめれそとせ入る。むさくせり。おくあし
あふにちとるべし。よめれこのふと。いふ。しる
る。うちと。心。むさくせめ。のふと。しる
引さる。し。て。若る人。六。西。逢。の。お。何。り
も。さ。ぬ。り。あ。ぬ。り。ま。て。お。や。な。ら。と。い。と
は。い。ふ。ん。と。そ。も。く。む。さ。く。せ。め。さ。う。な。は
り。と。む。と。い。ふ。べし。

作え向曰。子。四ハさ。と。ん。た。め。あ。り。さ。と。と。孫。ハ。子。
向。と。ま。に。た。と。さ。り。う。ー。子。及。ゆ。さ。と。也。と。い。ふ。事。
わ。ら。う。事。に。て。此。序。也。

かこお通の位につてそれくの所他とつとあき持
たけみ備のるよひにまゝ力を尽し毛功も邪欲
の悪念形くおの不儀とも行ふあてて天下に一人
し悪人あり。堯舜の民は皆可封とつていばるあり
あるとさへ惡疾不肖の人とて悪人とさつて置あり
か来るるに賢も愚不肖も皆皆人哉とあり。そ
昔人の内は精粗大小貴賤の免あるも賢と愚は各
の内は精よりて貴く愚不肖も皆皆の内は粗より
て拙きものなり。たとへば金も銀も鉄も銅も皆
金銀銅鉄の類なり。たとへば精粗大小貴賤の免あるも賢と愚は各
の内は精よりて貴く愚不肖も皆皆の内は粗より

金銀銅鉄の類なり。たとへば精粗大小貴賤の免あるも賢と愚は各
の内は精よりて貴く愚不肖も皆皆の内は粗より
て拙きものなり。たとへば金も銀も鉄も銅も皆
金銀銅鉄の類なり。たとへば精粗大小貴賤の免あるも賢と愚は各
の内は精よりて貴く愚不肖も皆皆の内は粗より

金銀銅鉄の類なり。たとへば精粗大小貴賤の免あるも賢と愚は各
の内は精よりて貴く愚不肖も皆皆の内は粗より
て拙きものなり。たとへば金も銀も鉄も銅も皆
金銀銅鉄の類なり。たとへば精粗大小貴賤の免あるも賢と愚は各
の内は精よりて貴く愚不肖も皆皆の内は粗より

一 昨前日より疑ふては。是も易きこととていふ。そへ

ららぬるありてとて大方のりる人
生涯のありさまをいふはく成とてと畢
る財令六つあり。一、才のたがひ。二、徳の
賢智。三、富貴。四、貴族。五、富の定。六、才の
智。七、能の定。八、用。九、賢智。十、富貴。十一、才の
女。十二、才。十三、富貴。十四、貴族。十五、富の定。十六、才の
又、姉兄や朋友、偏の縁の者、乃定。十七、才の
の門。十八、才の才。十九、才の才。二十、才の才。
又、才の才。二十一、才の才。二十二、才の才。二十三、才の才。
天乃鬼神の御威をいふ。二十四、才の才。二十五、才の才。

難易の定六あり。一、才の天令。二、才の胎育の
よけ。三、才の才。四、才の才。五、才の才。六、才の才。
さ。七、才の才。八、才の才。九、才の才。十、才の才。
ありとて。十一、才の才。十二、才の才。十三、才の才。
育。十四、才の才。十五、才の才。十六、才の才。
陽。十七、才の才。十八、才の才。十九、才の才。二十、才の才。
囚老の才。二十一、才の才。二十二、才の才。二十三、才の才。
い。二十四、才の才。二十五、才の才。二十六、才の才。
一。二十七、才の才。二十八、才の才。二十九、才の才。
付。三十、才の才。三十一、才の才。三十二、才の才。

その何れもは。運命にて成なりきも有り。又何れも
運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
富貴も。運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
て。老く。衰ふ。ものも有り。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
して。老て。富貴も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
む。また。人。の。位。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
位。に。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
つ。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
つ。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。

み。の。生。長。化。収。斂。王。相。死。囚。老。の。氣。運。つ。も。
つ。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
長。短。大。小。な。り。形。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
ま。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
ま。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
統。中。の。運。命。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
や。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
六。極。の。中。の。運。命。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
獨。淫。の。妙。理。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。
福。吉。の。秘。も。成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。又運命にて成なり。

凍。冬。寒。く。く。昔も今も未代もつるもくぬ
妙理なり。あられも。昔人も。五秘とけけ。悪人
も六秘との。く。く。天の時。地の利。よ。あ。ん
と。云。て。虚。ハ。実。に。く。ぬ。もの。なり。五秘六秘の。今。ハ。氣
ハ。属。一。て。虚。なり。胎育の。始。よ。け。く。運。命。を
形。ハ。属。一。て。実。する。故。に。虚。あり。福。極。く。け。く。て
一。旦。の。く。ある。なり。たと。六。月。の。土。用。ハ。さ。め。て。あ。く
く。び。く。さ。め。ハ。け。ら。祿。と。悪。寒。の。病。あ。る。人。を
や。く。と。く。の。さ。て。も。狂。さ。げ。ま。く。極。月。の。大。寒
ま。さ。の。極。と。く。の。さ。て。火。に。あ。く。て。も。あ。つ。く。ぬ

よ。大。寒。熱。の。病。人。い。く。ぬ。さ。て。も。狂。あ。く。に。け。く
の。人。よ。わ。く。ろ。あ。つ。く。さ。め。さ。も。の。病。人。よ。わ。く。ろ。何
つ。さ。さ。さ。も。同。一。の。あ。れ。も。暑。寒。の。氣。ハ。属
一。て。虚。なり。悪。寒。大。寒。の。病。人。形。ハ。つ。さ。さ。さ。を
又。虚。あり。暑。寒。の。氣。實。なる。病。邦。に。く。く。さ。る
あ。に。の。け。く。け。く。け。た。と。く。さ。て。よ。く。く。作。逆。さ。く
昔。大。唐。ハ。盜。賊。い。く。大。唐。一。番。の。ぐ。ん。ど。う。あ。る。は。ま
又。逆。さ。さ。く。く。く。く。て。人。の。あ。つ。く。と。く。く。ひ。め。さ
く。も。病。是。災。に。長。せ。く。て。祿。あ。く。く。く。く。たり。も。さ
ま。此。孔。子。の。け。す。子。に。教。子。と。中。人。あり。三。子。人。の

只貪り。どむじむらまれ。賊實ありてもん。ハ貴
 若かりん。くく。まひぬれ。同よかれ耳。ハ
 みなら。くく。とまれ。病。てハ形や。くく。以。欲ん
 の。くく。とまれ。た。され。ハ。憂。かり。てもん。や。くく。以。
 是。て。禍。福。の。極。き。と。ゆ。ん。と。ハ。一。止。福。の。中。を。り。
 倣。好。し。と。の。せ。ハ。極。の。殊。に。無。弱。と。の。せ。後。ハ。極。き。
 く。く。以。職。ハ。通。と。ハ。一。

